

金目川そぞろ歩き <その2> ヤビツ峠及び金田公民館の石碑

2017. 12

金目川に関する事象、そこかしこに記念の石碑として刻み残されています。

1、ヤビツ峠の石碑 水源地近くの「水源涵養林春嶽山の碑」



文言は次のページをお読みください

### 水源涵養林春嶽山の碑

春嶽山は 丹沢山塊の南端に位置し 霊峰大山に接している 面積はこれより東南の斜面百三十七ヘクタールに及び 金目川の水源として古くから流域住民の生活用水としてかかせない役目を果たしてきたが 長い歴史のなかで洪水や山津波にたびたび見舞われた

このため治山治水対策を痛感し明治四十五年平塚 秦野 伊勢原の一町九か村の代表者が当時の土地所有者と百六十年間に及ぶ地上権設定契約を結び水害予防と水源涵養のため造林事業や砂防工事に努めた この間 大正十二年の関東大震災及び第二次大戦による乱伐で荒廃の極に達したが その後林道整備や育林管理に心血を注ぎ緑を回復した 一方 歳月の流れのなかで所有者や地上権者も数多く変遷した 昭和二十七年四月 平塚 秦野

伊勢原の三市で組織する金目川水害予防組合が地上権を取得し 更に昭和五十八年十一月土地所有者からの申し出を受け春嶽山の所有権を取得した

緑潤うこの山は先人達の積年の苦勞の結晶による尊い遺産であり これを後世へ伝えるためにこの記念碑を建立する

昭和六十年十一月吉日

金目川水害予防組合

石川京一撰文

柏木幹雄謹書



「大山」 下社から西へ登山道に入り、暫く上ると、左「蓑毛」と右「山頂」への分岐点に出会います。その奥一帯が、水源の涵養林として指定され保護されている山林になります。

## 2、金田公民館入口の石碑



### 健 民 の 碑

金田の歴史は 古来金目川 鈴川との洪水の嘗嘗たる村民の闘いであった  
この厳しい生活史の中で培われてきた村民の共存 協働意識と進取の気性は 近代に入っ  
て耕地の改良事業となり 戦後は農村の旧弊改善さらには健康で明るい村民づくりの社会  
体育となって進展し 新生活モデル村 社会体育優良村として数々の賞に輝いた  
昭和三十年十一月一日第十回国民体育大会のみぎり 天皇皇后両陛下の行幸啓の榮に浴し  
村民こぞってお迎え申し上げたのがこの公民館の地である

まなびやにはげみし頃を思ひ出でて

なつかしく見るおいし師の君

この皇后陛下の御歌は お出迎えの中に当地寺田縄出身である学習院時代の恩師戸倉ヤマ  
(旧姓吉川) さんの姿を見いだされお詠みになったものである

金田公民館の竣工に当たり ここに地区民の業績を讃え この施設が幾久しく地域社会発  
展の礎とならんことを祈念し建立する

昭和六十一年四月一日 平塚市長 石川 京一 撰文 小島 英耀 謹書